



体験講座に参加した子どもたちの
素直な反応に触れ、仕事の結果を
直に受け取ることは印象深く、
それを糧に日々試行錯誤しています。

服部 有沙

令和4年度採用 広報コミュニケーショングループ配属

令和5年度 施設サービスグループ配属

人間情報学部 卒業

志望動機や入職の決め手を教えてください。

幼少期から春日井で過ごし、地元で働きたいとの思いがあり、この財団の多岐にわたる活動に興味を持ちました。文化・芸術への興味はあっても知識や経験が未熟な私が、市民目線で地元春日井の文化・芸術を支える立場になれば。との思いで応募しました。

どんな仕事をしていますか？休日はどう過ごしていますか？

仕事は財団の自主事業の準備や一般の方への貸館対応で一日中現場で動き回る日もあれば、書類や経理伝票の作成・アンケート集計などの事務作業をする日もあり、どちらも楽しめています。他にもギャラリー担当として、展覧会利用の打合せや作品の搬入・搬出の立ち会いもします。

休日は好きな野球観戦のために球場に行くことが多いです。この仕事を始めてからは、勉強を兼ねて美術館に行ったり、舞台を観たりもしています。

とある1日のスケジュール

8:30 始業 全体朝礼→グループ朝礼

9:00 事務作業、電話対応など

12:00 昼休憩（1時間）

13:00 貸館利用開始 設営

14:00 本番

16:00 撤収

17:15 終業 退社



※貸館対応や自主事業公演の設営などの繁忙期には残業もします。

印象に残っている仕事とやりがいを教えてください。

この夏に子ども向けの伝統文化体験講座の担当を任せられ、企画当初から本番当日まで大勢の講師方や子どもたちに関わる機会を得ました。参加した子どもらの素直な反応に触れ、仕事の結果を直に受け取ることは印象深く、ああやって良かった、次はこうしようと日々試行錯誤しています。

施設サービスグループは、施設を借りる方と接する機会が多く、利用の申請受付・打合せ・本番と何度も顔を合わせます。また毎年利用される方や団体も多くあります。なので、無事に本番を終え、感謝の言葉をいただけたときはとても嬉しく、大きなやりがいを感じます。

入職前後のギャップや自身の変化はありますか？

公益法人との名から、市からの受託業務などを“毎年同じようにきっちりこなす”とのイメージでしたが、実際はクリエイティブな面もあり、より利用しやすい施設や楽しめるイベントを日々考えています。業務は初めて知ることがほとんどですが、自分の世界が広がっていくようでとても楽しんで働いています。

受験者へ一言お願いします！

私は、大学4年時の就職活動で苦戦したタイプでした。周りの友人が内定をもらう中、自分が何をしたいのか分からなくなり、とても不安になったことがあります。今だから言えることですが、どこかに自分が楽しめる仕事があり、それを見つけるために通るべき道を通ったと思います。

実際に働いてみなければ分からないことも多く、人それぞれ向き不向きや、好き嫌いがあります。たくさん悩んで決めきれなかったら、一度やってみるといっても良いと思います。